



# きたあきつ



学校教育目標 **学び合う子** やさしく かしこく たくましく

所沢市立北秋津小学校 学校だより令和8年3月号 令和8年3月2日

創立50周年感謝会

校長 瀬川 英二

伊豆では早くも散り始めているようですが、正門を入り左手の河津桜、こちらは今8分咲きくらいでしょうか。この桜は、原木が静岡県河津町に存在することから、昭和49年に「カワヅザクラ」と命名されたそうです。すると、だいたい同年代。北秋津小の開校記念日は昭和51年2月10日です。先日に50周年を迎えることができました。

当日は、所沢市長 小野塚勝俊様、教育長職務代理者 平塚俊夫様をはじめ、ご来賓の皆様をお迎えし、50周年感謝会を行いました。これまで北秋津小を支えてくださったすべての皆様、先輩方に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。これからも「みんなで」子どもたちを育てていただきますよう、お力添えをお願い申し上げます。

この50周年の歴史は、多くの人の「思いやり」によって創られてきました。その思いに応えるように、皆さんも、「自分の人生を自分で創っていく」という意志を持ち、自分らしく一歩ずつ、前に進んでいってください・・・今日は、先輩の卒業生である柳家喬之助師匠による落語、そして代表の皆さんの発表があります。最後には、「こころのふるさと」を合唱しますね。この歌詞のように、皆さんが大人になり、今度はこの学校を支える地域の人として戻ってきたとき、北秋津小学校がさらに輝いていて、あたたかい学校であったなら、うれしいです。(校長挨拶より)

この日に誕生した「きたっち」が評判です(上のタイトル右)。記念の“きたっち巾着袋”も、かわいい！PTAの協力をいただいて、子供たちが主体となり進めた企画です。愛校会からは記念ボールペンと、災害時の校内用非常食を備えていただきました。この他にも、特に「校歌について」リーフレットでは、作詞の宮澤章二先生のご子息をはじめ、多くの方々のご協力をいただきました。これらのご縁を大切に、繋いでいきます。

校庭の「ターザンの丘」(築山)の整備も進んでいます。とんぼキッズのスタッフさんと話していて、中に入らないように何年もロープが張られていたことがわかりました。この時季、水路に手を入れて、キーンと冷たいのに春を感じるような、気の早いザリガニやドジョウをつかまえようとわくわくしたことを、子供たちへも。ビオトープづくりはまだ途中ですが、早くも、水面に張った氷を取り出して遊ぶ子供たち。やはり、手がしびれるほどの水の冷たさ。梅の木にはメジロを見かけます。花の蜜を好むので、花が咲いたところに頻りに現れます。輪切りにしたミカンを枝にさして、野鳥が来る餌場を切り株の上に作ったり。七夕の飾り用に竹は残そうと思います。たけのこも、また採れるといいな。

「子供たちは大人の生き方の多様な物語を知ることにより、『自作の物語の主人公として生きる』ための準備を整えていく」(※1)、そうだなと思います。そうして、子供たちは自分を俯瞰して、ある意味、親や先生を越えて、自律していきます。様々な大人たちに出会える機会や経験をどのように創っていくのか。先日の学校運営協議会でも熟議の議題でした。ここに、これまでの50年間の多くの方々とのつながりが支えとなります。51年目も、どうぞよろしく申し上げます。

(※1 『教育研究』2026.2 藤井千春「愚痴や弱音を言えること」)

## 【教育活動についてのアンケート・結果】

12月に実施し、130件（家庭数）の回答をいただきました。記述の意見は31件いただき、2月19日の第3回学校運営協議会でも議題としました。教育目標、行事の目的やねらいをもとに検討し、今後の教育活動の改善につなげてまいります。

◎ 「教育活動の様子を伝えている」「体験活動を取り入れた授業」は肯定評価99%以上に達しました。日々の授業の取組に加えて、多様なゲストティーチャーや専門家を招いた特別授業、サクラタウンへの社会科見学（※）など、本物に触れる機会が子供たちの意欲を高めています。（※PTAのご協力をいただきました。来年度も3年生で予定しています。）

△ 「相談しやすい雰囲気」において、他の項目より低い評価（91%）でした。「進んで学習に取り組む」や「あいさつ」については、今後も家庭との連携を深めて取り組みます。

（Aよくできている Bおおむねよい Cあまりできていな Dほとんどできていない）

	R7評価内容	% (小数点以下を四捨五入・一部無回答あり) →	A	B	C	D
1	学校は、学校だより、学年だより、学校行事や懇談会等を通じて、学校経営方針や教育活動の様子を伝えている		55	45	0	1
2	学校は、体験活動を取り入れたり、指導を工夫したりしてわかりやすい授業に取り組んでいる		54	45	1	1
3	学校は、児童一人一人を理解しようとして、その子に応じた指導や支援を行っている		36	59	5	1
4	学校は、いじめ・不登校や、生徒指導への組織的な対応を行うため、家庭との連携を進んで行っている。		33	61	5	1
5	学校は、相談しやすい雰囲気がある		39	52	9	1
6	学校は、校内美化に努め、安全な学習環境を整え、事故やけがの防止に努力している		43	54	2	2
7	お子さんは、学校へ楽しく通っている		65	31	2	2
8	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる		33	45	20	2
9	お子さんは、友達と仲よく生活している		53	43	2	2
10	お子さんは、自分からあいさつをしている		28	56	12	4
11	学校は、地域・家庭と連携した教育活動に進んで取り組んでいる		35	61	3	1
12	学校は、保護者や地域の方の意見を教育活動に生かそうと努力している		35	59	5	1

□以下、主に全体に関わることについて、記述の趣旨と※学校より）

- ・相談員や、カウンセラー（SC）の在籍日が多くなるとありがたいです。（※現在は市のSCが毎週月曜日、県のSCが月に1回です。限られた時間の中ですが、今後も相談体制の充実に努めます。）
- ・不審者のメール情報は、不審者の特徴等があるともっと気にかけることができます。（※迅速な注意喚起を優先しつつ、関係機関と連携して可能な範囲で詳細な提供を行えるよう努めます。）
- ・短縮日課と特日課の違いがわかりづらい。（※特別日課は、授業の始まりや終わりの時刻を変更して、全体的に前倒しにする日課です。年度当初に配布する時間割表でもご確認ください。）
- ・授業参観があと1回くらいあるといいなと思います。（※今年度は個人面談の日程と回数を見なおし、併せて公開授業を増やしていました。授業参観の回数は今後を検討します。）
- ・トイレの汚れが気になります。（※東寄りのトイレは古いままで、清掃活動やPTA一日役員の協力をいただきながら使用しています。改修工事までは、市の教育施設課と修繕体制を整えながら美化に努めます。）
- ・行事の指導について、練習期間が短い、楽器オーディションの事前指導が不十分では。（※行事のねらいに基づいて練習時間を確保し、子供たちの達成感につながるよう指導計画を立てて取り組みます。）
- ・一部の教職員の子供たちへの言動や接し方に疑問を感じます。（※全教職員が児童に寄り添った指導を行えるよう、校内研修や指導を徹底し、信頼回復に努めます。）
- ・音楽会の人数制限（2名まで）を緩和してほしい。（※体育館の収容人数や安全面の考慮を第一優先とし、今後の参観形態について検討を進めます。）

☆2月10日50周年感謝会、柳家喬之助師匠の落語、校庭の「ターザンの丘」



☆2月27日6年生を送る会、寄付や愛校会支援の本を学級文庫へ



【特別授業の様子】株式会社少年写真新聞社記事より

・豆鉄砲特別授業：「豆鉄砲が北秋津小学校にやってきた！」

少年写真ニュース <https://schoolpress.jp/kitaakitsumame/> →



【令和8年度の教室の配置】

・1階に1・6年生、2階にあおぞら学級、3階に3・5年生、4階に2・4年生の教室を

予定しています。また、現時点で令和8年度の3年生(現2年生)は、3学級となる見込みです。

【令和8年3月の予定】「お世話になった人に感謝の気持ちを表そう」

月	火	水	木	金
2 朝自習 6年生薬物乱用 防止教室5時間 目	3 全校朝会 1・2年生授業参 観・懇談会	4 水曜日課 5・6年 生授業参観・懇談会 (5・6年生は5時間 授業)	5 読書 委員会	6 大縄記録会 3・4年生、あおぞら 学級授業参観・懇談 会
9 全校スキルタ イム	10 民生・児童 委員さんとの給 食会1・2年生、 「エバリーコンサ ート」特別授業	11 水曜日日課	12 読書	13 特日課6時間 通学班会議・一斉下 校
16 朝自習	17	18 水曜日課5時間	19 特日課5時間	20 春分の日
23 特日課4時 間	24 特日課4時 間 給食最終日	25 特日課3時間 卒業証書授与式 1～4年生臨時休業 日	26 特日課3時間 修了式 ※4・5年生 は特日課4時間 6年生臨時休業日	27 春休み～4月7日 (火)

※町内会・地域の皆さまへ この学校だより「きたあきつ」は、現在は愛校会が直接、または児童を通して配布していますが、来年度より、学校ホームページへの掲載を基本に、変更予定です。ご理解とご協力をお願いします。

【北秋津小HP】 <https://kitaakitsu-e.edumap.jp> →

